

未来ボランティアの

特集 チャレンジする

課題を超えて～



[写真2] 大通り花壇のボランティア活動 6月24日に、22名の会員が、5丁目花壇の花苗を植えつけました。

コロナ禍とボランティア活動

コロナ禍はボランティア活動にも大きな影響がありました。ボランティア活動は、社会にとって「不要」ではありませんが「不急」にくくられる活動が多かったことは否めません。感染防止のため活動を休止したり、活動先の事業所が受け入れ中止を決めたなどの例も多くありました。

もっとも、コロナ禍で生活が大変になった人々のために「必要・即応」のボランティア活動も展開されました。生活困窮者への食糧支援や子どもたちへの教育支援など、以前からも取り組まれていましたが新たに活動する団体も増えてきました。また、ワクチン接種の予約支援やワクチン接種会場への移送などのボランティアも新しい取り組みでした。

シーズネットの取り組み

緊急事態宣言下ではサークル・サロンはすべて休止していましたし、合唱やカラオケなどの3密系サークルはずっと休止中です。また、法人独自のボランティアポイント制度で施設や高齢者向け住宅にボランティアを派遣していましたが、こちらも休止を余儀なくされています。

このままでは仲間づくり・居場所づくり・役割づくりを目指す法人の存在意義が無くなると思い取り組んだのが「WEBでサロン」です。会員の平均年齢が75歳というシニア団体ですから、多くの会員が感染を恐れて閉じこもりがちになりましたので、WEBでコミュニケーションをとることで、フレイル予防にもなるのではないかと企画しました。Zoomを利用して昨年7月から

始め、毎月3~4回程度実施しています。内容は、歌声喫茶、脳活塾、介護予防体操などです。双方のやり取りができるので交流の場ともなるのが、TV会議ツールの良いところです。(写真1)



[写真1] 「WEBでサロン よっちゃんが歌おう」
よりみち便よっちゃんがアコーディオンで画面に映る皆さんと交流しています。

また、屋外での活動は感染予防に留意すればあまり感染の危険性がないといわれていますので、10年前からずっと続けてきた大通公園の花壇での花苗の植栽を今年も行うことができました。今年は5丁目に日日草などを植えましたので、通るときはぜひ見てください(写真2)。

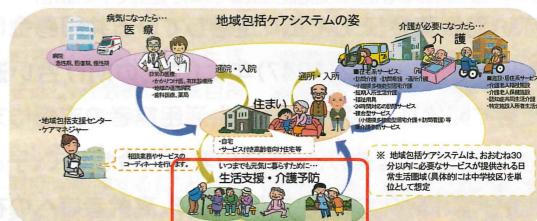
これからのボランティア～新しいスタイル・工夫・創造

コロナ禍を経験して、様々な知見が蓄えられました。それを活かして次のような取り組みが考えられるのではないかと思います。

①コロナ禍で一気にTV会議ツールが普及しましたが、他者とのコミュニケーションの機会を確保するという面で非常に便利なツールですので、ボランティア組織活動に活かすだけではなく対象者にどんどん普及させたいものです。中古のタブレットを確保してレンタルし、アクセス方法を教えるなどの取り組みが期待されます。このツールは、今後災害等があった場合にも活かされるでしょう。Wi-Fi環境が課題ですが知恵を絞りたいものです。

②国が進めている地域包括ケアシステムのイメージ図(図1)には、「生活支援・介護予防」が「医療」「介護」と同等に配置されています。社会保険で保証されている医療と介護と違い、生活支援・介護予防は地域の皆さんでシステムを作っていくかない限り機能できない脆弱な性格のものです。高齢者分野でのコロナ禍の影響は、認知症や一人暮らしの方を支える見守りや生活支援、フレイル予防、ワクチン接種などの手続き支援、コロナ禍に付け込んだ詐欺などから守る権利

擁護等の課題を明白にしたことです。この面では、住民支援を担うNPO等に助成金等が流れる仕組みづくりや、既存の地域組織である町内会や民生委員との連携などを強化する必要があると感じました。その面でもNPOと生活支援コーディネーターとの連携が求められていると思います。



[図1] 地域包括ケアの姿 引用:地域包括ケア研究会報告書(平成28年3月)より

③今年4月の高齢者雇用安定法の改正により70歳までの就業機会の確保が努力義務化され、事業主が委託、出資等を行うNPO法人等が実施する社会貢献事業に高齢者が従事することも就業機会の確保の要件になることが位置付けられました。社会貢献事業を担う人材として、企業と提携したNPO法人が退職者を受け入れることもこれから増えていく可能性があります。NPO法人としては担い手を、人件費をかけることなく確保でき、企業側も努力義務を満たすことになるというWin-Winの関係となります。こうした人材の活用を考えたいものです。

つまりこれらの課題は、NPOとしてどのように地域と関わるかということであり、コロナ禍で改めて見直す機会を得たと考えています。

おわりに

一つの例ですが、私どもの「WEBでサロン」ではアコーディオンの歌姫よっちゃんの歌声喫茶が特に好評で、会員だけでも楽しむのはもったいないと思い、6月から、高齢者施設や高齢者住宅向けに無料配信する取り組みも始めました。高齢者施設等では、感染予防のためレクレーションなどを見合わせているところも多いので、画面を通じて懐かしい歌など楽しんでもらえればと思っております。

お問い合わせ
認定NPO法人シーズネット
TEL:011-717-6001

認定NPO法人
シーズネットHP



6つのアクション

共感する

育成する

つなげる

支援する

チャレンジする

組織を強くる